



発行所
岡山県立岡山工業高等学校
工友会
岡山市伊福町4丁目3番92号
編集責任者:佐藤 弘典
印刷所:旭総合印刷

ご意見、情報はこちらまで
TEL 086-252-5231
FAX 086-252-7130
http://www.okako.com/

ご挨拶



工友会会長
山本 鴻
(昭和29年土木科卒)

平成十七年度工友会報を発行するにあたり一言ごあいさつを申し上げます。

工友の皆様方にはご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げますとともに、平素より工友会活動に対し多大のご支援、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

平成十七年度は政治経済、社会的にも話題の多い年でありました。改革の本丸と位置づけた郵政民営化法案が参院で否決され、衆議院解散総選挙は前例のない想定外のごきごとであったと思うのでございます。その余波を受け岡山でも市長選挙が行われ民間出身の市長が誕生いたしました。民間感覚で斬新な発想の市政運営に期待するものであります。

長い間、足踏みを続けてい

た国内の景気は企業収益が改善され雇用環境も好転し、個人消費の伸びや設備投資などにより回復基調が続いており、政府も八月の経済報告で踊り場の状況を脱却したと宣言、先行きの明るさも少し見えてきたように思われます。

しかしながら高止まりする原油価格の動向、増税や社会保障の負担増など不安もあることから工友諸兄には更なる頑張りを願うものでございませ

す。また、最近幼い子どもの痛ましい事件が連続して発生しており、強い憤りを感じ、気持ちも暗くなるばかりでございます。工友の中にも幼い子どもを家族にお持ちの方も多いかと存じます。万全の対策を願うものであります。

今年度は、第六十回国民体

育大会「晴れの国おかやま国体」が開催されました。四十二年ぶり二周目となる岡山国体は、県民総ぐるみの温かさのあふれるもてなしの国体を目指すとともに、前回成し遂げられなかった天皇杯獲得に向けて地道に選手強化に取り組んできた成果が実を結び悲願であった天皇杯を獲得。それまで多く県民が一体となつて進めてきた諸準備が花開き、選手も県民の満足のいく大会であったと思うのであります。母校からも多くの選手が出場し、力一杯のプレーで天皇杯獲得に大きな貢献をしてくれました。競技場に足を運び母校の選手たちに声援を送って下さいました工友諸兄に敬意を表すものでございませ

す。今年度も嬉しいニュースがありました。母校ラグビー部が二年連続六度目の全国大会出場であります。今季は二度の中国大会とともに初制覇、花園は集大成となると新聞でも報じられました。花園での活躍が楽しみでございます。

平成十七年度の総会は七月十日、株式会社大本組支部のお世話で開催いたしました。

総会と懇親会では楽しいひとときを過ごさせていただきました。総会では、平成十六年度秋の叙勲で受章の栄に浴されました三宅丈夫(工化二十八年卒)・市川加二(土二十八卒)、春の叙勲で坂本宣久(応化十八年卒)の皆さんに工友会よりお祝いの記念品を贈呈させていただきました。ご本人のお喜びはもとより、工友としても名誉なことであり心よりご祝福を申しあげるのでございます。

ご準備いただきました大本組支部の森山基司(土四十二年卒)支部長をはじめ、支部工友の方々に厚くお礼申し上げます。

平成十八年度の総会は、中国電力株式会社岡山支店支部(支部長 金光昌一 電五十年卒)のお世話で七月に開催する予定でございます。多数の工友のご参加をお待ちいたしております。

最後になりましたが、工友皆様のご健勝とご多幸、母校の発展を祈念申し上げます。さつといたします。

ご挨拶



学校長 宇佐見 一郎

工友会会員の皆様方には、益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

平素から母校教育の充実、発展のために物心両面にわたり一方ならぬご理解とご支援を賜っており誠に有難うございます。日頃の教育活動が円滑に推進できておりますのも、皆様方の温かいご支援の賜物であると深く感謝いたしております。心から厚くお礼申し上げます。

ところで、今年岡山県では、第六十回国民体育大会「晴れの国おかやま国体」が四十三年ぶりに県下各地で開催され、開催県としての悲願の天皇杯を獲得して大成功裏に閉幕しました。本校からは、夏季大会のカヌー競技に一名、秋季大会のラグビーに八名、自転車競技に七名、弓道とボクシングに各一名の計十八名の生徒が選手として出場した他、二百名を越す多くの生徒が競

技補助員等で大活躍し、国体の成功に貢献してくれました。誠に喜ばしい限りです。

さて、本誌面を拝借して学校の近況をご報告いたします。生徒たちは、勉学に部活動にと、よく励んでくれており大変嬉しく存じております。

部活動は年々盛んになってきており、体育系・文科系を問わず、多くの部、同好会が熱心に活動し、自転車競技をはじめ陸上競技、ボクシング、ラグビーなどは全国大会出場の常連になっております。

なかでも特筆したいのは、中国地区大会学校対抗の部で目下六連覇中の自転車競技部、そして、岡山県勢として二十年振りに春季中国大会を制覇するとともに全国高校ラグビー大会県予選で見事四年連続八度目の優勝を飾り花園への二年連続出場を果たしたラグビー部です。花園出場に際しましては、大阪支部の岡友会

をはじめ各支部から多大の温かいお励ましを頂き誠に有難うございました。改めて厚くお礼申し上げます。

一方、学習面では今年から三年間の予定で、文部科学省の「ICT（情報技術）人材育成プロジェクト」の研究指定校、いわゆるスーパーICTハイスクールとしてICTに関わる人材育成の実践研究に取り組んでいます。

また、各専門科ともそれぞれの特長を活かした幅の広い取り組みをして大きな成果を上げています。メカトロニクス技術などを駆使して競技する県内外の各種大会において優秀な成績を収め、岡工の技術力の高さを示す活躍をしてくれています。

このように、生徒は勉学だけでなく、部活動などの課外活動との両立を目指して頑張ってくれており、誠に頼もしい限りです。学校全体に活気が漲っております。

お近くにお越しの際は、是非一度お立ち寄りくださいまして、学校の様子をご覧いただければ幸いです。後輩たちにお励ましの声でも掛けてやっていただければ誠

に有難く存じます。

教職員一同は、創立百四年目を迎えた本校教育の更なる充実、発展を図り、二十一世紀の我が国の基盤を支える有為な人材育成という使命を果たすべく邁進しております。今後とも、皆様方の温かいご

理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

おわりに、工友会の益々のご発展及び会員各位の益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

平成十八年度工友会総会 多くの方の参加を！

中国電力株式会社岡山支店支部 支部長

金光 昌一（昭和五十年電気科卒）

工友会会員の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。各界・多方面において活躍され、著名な方が卒業生であるとお聞きすることもしばしばです。実際、私自身も仕事の関係、地域行事やその他いろいろな生活の場面で、卒業生であるとお聞きし、

今まで私どもの支部においては総会のお世話の経験がなく、このたびの運びとなったわけですが、なにごともお借りしながら努めさせていただきます。ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、岡山県立岡山工業高等学校は歴史も古く創立以来

なり、それぞれの支部におかれましてもますますご清栄の



工友会総会を終えて

(株)大本組支部 支部長
森山 基司
 (昭和42年土木科卒)

工友会の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平成十七年度の工友会総会を当支部で担当させて頂き、平成十七年七月十日(日)岡山プラザホテルにおいて開催することができました。皆様方には多数のご出席並びに、ご協力を頂きまして誠に有難うございました。この場をおかりして厚く御礼申し上げます。また総会担当としての大役を担当させて頂きましたが、不慣れなためいたらぬ点がありましたことをお詫び申し上げます。

当日は快晴の中二百二名のご出席を頂き、コンセプトの「幅広い世代の交流場所の提供」に値するものとなり、一同安堵致しました。総会は山本会長・宇佐見学校長のご挨拶で始まり、議事にそって平

ことと存じます。また支部組織のない所にも多くの方がそれぞれ場で活躍のことに存じます。そのような皆さんの近況を、総会の機会に語り合っていただければ幸いです。次回の総会は、平成一八年七月に岡山プラザホテルでの

成十六年度事業・決算・監査・平成十七年度事業計画・予算・その他の審議を頂き、滞りなく終えることが出来ました。

そして、昨年会長をご勇退されました萩原前会長に、感謝とお礼の意味を込めて感謝状の贈呈をさせて頂きました。萩原前会長におかれましては二十年の長きにわたり、工友会及び母校の発展にご尽力を頂き、誠に有難うございました。

引き続き事務局からの叙勲受章者として、三宅丈夫様(昭和二十八年工業化学科)、市川加二様(昭和二十八年土木科)、坂本宣久様(昭和十八年応用化学科)、御三名の紹介がありました。当日ご出席された三宅丈夫様に山本会長よりお祝いの贈呈が行われました。工友会としてこの栄誉を誇りに思う次第です。誠に御めでとうございます。

開催を予定しております。近年、若い方、女性の方の参加が少なくなっています。気軽に参加いただければ嬉しく思います。お忙しいこととは存じますが、多くの方の参加で盛大に開催できますようお願い申し上げます。

総会后、同会場にて懇親会に移り、開会宣言・鏡開き・乾杯・県庁支部より岡山国体についてのご紹介・母校百周年記念DVDの披露・交流タイムなど和やかに催し、世代を問わず懇親を深めて頂けたと思っております。最後は全員が一同に会して記念撮影を行い、宴を終了しました。今後この伝統ある総会へ一人でも多くの工友会員が集まり、益々盛大なる事を心から願っております。

最後になりましたが、総会に際しましてご協力頂きました諸先生・諸先輩・またご多忙中にもかかわらず遠路お越しを頂きました工友会会員の皆様にご心より感謝申し上げます。皆様の益々のご健勝、ご多幸、そして工友会の発展を祈念しお礼の挨拶とさせていただきます。



【関東支部】

事務局長
池口 健児
(昭和34年機械科卒)

工友会の皆様には、益々のご健勝のこととお慶び申し上げます。

関東支部は十七年度総会を昨年四月十七日に東京駅丸の内北口「みかど」二階宴会場において、本部より山本会長・母校より青山教頭・佐藤事務局長のご来賓を仰ぎ女性会員一名を含む二十五名が出席して開催いたしました。総会は池口事務局長（機三十四卒）の司会により山本会長、引続き板野支部長（土二十五卒）の挨拶で始まりました。例年の通り会務・会計報告を大原会計監事（機三十四卒）、会計監査報告を林会計監査が報告し満場一致で承認されました。

引続き池口事務局長より十七年度予算案の説明があり、

予算も満場一致で承認され関東支部の校章旗をバックに全員の記念撮影をとり会議の部を終了しました。

引続き懇親会に入り、瀬尾晃三様（化十二卒）のご発声による乾杯から始まり、ご来賓のご挨拶、母校、郷里の現況を懐かしくお伺いいたしました。特に十七年は国体の開催

県であり関係機関の方々の日夜準備で頑張っておられる等々、岡山をしのぶお話に一時学生時代に戻ることができました。

関東支部会員の動静ですが新卒東京就職者が二名と上級学校へ進学者二名の届出がありました。上京者が少ない傾向はこれからも続くと思われ

ます。



当日の参加者の内訳は昭和十二年卒の大先輩から平成十七年卒まで幅広く（機械十名）（土木五名）（化学九名）（美工二名）で、毎年のご出席の方々のご都合が悪く少し淋しい会となりました。その中にあり（美工三十四卒）芦田さんがご出席され、会が盛り上がり華やかな雰囲気でした。

支部発展のため、色々なアイデアをつのっている中で関東支部（あじさいクラブ）を誕生させてはとの案があり、昨年十二月四日関係幹事会を開き、作ってはどうかの方向でまとまりました。関東支部では現在、横浜クラブ・JFE（旧川鉄）同窓会・日立製作所・系列会社同窓会がそれぞれの地区で集りを行っています。それぞれの地域で個別に活動し発展することも一案

【大阪支部】

(岡友会)

幹事
真寺 豊
(昭和38年工業化学科卒)

工友会会員の皆様には、ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

平成十六年度第二十五回岡友会（工友会大阪支部）総会が十月二十九日（土）十二時より恒例の会場になった大阪京橋の「扶桑会館」で開催されました。

今年朝からあいにくの雨となり、いささか心配いたしましたでしたが会員諸氏のご協力

としたいと思います。会費徴収の方法、行事費補填方法を協議すれば良いと考えています。岡山を離れ関東に住み一時でも昔を思い出してこれからの人生の糧にしたいため、役員一同頑張っております。今後ともご支援をお願い申し上げます。

約五十名強の方が参集され、久しぶりの再開を総会前に楽しく過ごしていました。

総会開始前に幹事会が開催され、一年間の業務報告とその反省、次年度の取り組み事項、会計報告、会計監査、役員改選等の原案が話し合われ、総会に諮られました。

総会には、ご多忙の中ご来賓として工友会会長、母校宇佐見校長、工友会事務局長の佐藤先生にご出席を頂きました。

総会は為房岡友会会長（化学科二十五年卒）より次のようなご挨拶がありました。「岡友会は母校創立八十周年を機に昭和五十六年発足し、この間、工友会本部、母校のご指導、在阪会員の協力で第二十

平成18年度
工友会総会
 平成18年7月9日(日)
 10時より
 総会担当
 中国電力株式会社 岡山支店支部
 支部長 金光 昌一
 会場 岡山プラザホテル
 電話 086-272-1201



五回総会が迎えられました。また、学生諸君の教育環境の整備につながる記念会館建設に会員諸兄弟の多大なご協力に心より感謝いたします。華やかな総会までにはいたりませんが、会員諸兄の交流の場として今後も岡友会活動を続けて行きたいと思えます。よろしくご協力を願います。

山本会長からは、去る七月に工友会総会が「大本組」の担当で盛大に開催された事、最近の岡山市・岡山県の近況報告として、いろいろの事情があつての岡山市長選挙、四十三年ぶりの国体開催、岡工選手の頑張りに興奮したとのエピソード、そして「結論として昔のように道路整備、競技場の整備等で目立った動きは無かつたものの、他府県から来岡した選手たちへ「おも



てなし」を主旨とした県民あげての国体開催であり、岡工OBたちも随所で協力し「岡工の伝統が誇れる」と思いました。また、岡友会は地元岡山より若干離れていますが大阪近郷の在阪支部として、今後も益々発展されることを期待いたします」とのご挨拶を頂きました。

宇佐見校長先生より、「昨年は県内の校長会の公務で出席できませんでしたが、記念会

館が完成し、利用する学生諸君も大変感謝してありますし、校長としてもご支援の程に心より感謝申し上げます。生徒たちは勉強・部活と張り切つて元気に過しておりますが、現実の問題として少子化の傾向は顕著であり、クラス編成で困難をきたしております。また、生徒たちの進学・就職

しさがありません」とのご報告とご挨拶を頂きました。

佐藤先生(事務局長)より、「本部工友会会報の充実を図るほか、記念会館の有効利用として、工友のご訪問があれば、いつでも入場できるように段取りいたします。また、工友会名簿(二〇〇四年版)も在庫があります



のでご希望があれば連絡をお願いいたします(一冊五千円)。また、百周年の記念誌(一冊三千円)も発行してあります。なお、名簿発行時には、キッチリとした案内をするので、工友会・学校とは無関係な「勧誘の話」には乗らないで頂きたい」との紹介と注意を頂きました。

工校誌「東天」を各員が頂戴いたしました。「今後も、会員諸氏の交流の場としての工友会会報の充実に努めたいので記事があればどしどし応募して欲しい」との要請もあり工友会活動の一端のご報告とご挨拶を頂きました。

議事に入り、岡友会事務局より会員動静、親睦ゴルフ大会開催、総会開催までの一連の事務報告を含め一年間の動きが報告され、続いて会計収支報告、会計監査報告がなされ、報告内容が承認されました。

また、総会も秋の時期に開催が定着し、現在の会計年度が「当年四月一日、翌年三月末」では何かと間が空くので、岡友会規則第七条(会計年度)を「当年十月一日、翌年九月末」にする改正案が

上程され、承認されました。平成十八年度は「日十七年四月一日〜日十八年九月三十日」になります。

無事に総会を終え、会場を移し、山崎前副会長（土木科二十三年卒）の乾杯の音頭で懇親会に入りました。会では還暦を迎えられた会員に“杯”を贈ることになっており、今年も数名の方に為房岡友会会長（化学科二十五年卒）より贈呈されました。

毎年の事ながら、卒業年次、科別の違いはありましたが同窓のよしみで、ご来賓の山本会長、先生方、女性会員さんを囲みお昼の一時を楽しく過ごしました。

時間も経過しましたが、恒例の校歌斉唱は「東天燃ゆる紅の旭の流れ：」を意気軒昂に歌いあげた頃には、朝方の雨も止み、お互い健康には十分留意して来年の再会を約し散会となりました。

第二十五回岡友会（工友会大阪支部）総会が無事終了したことを支部報告といたします。

【広島支部】

支部長 足立 良成
(昭和29年工業化学科卒)

工友会員の皆様には、ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。平成十七年度

の広島支部総会を六月十一日（土）「ホテルセンチュリー21」にて開催いたしました。本部から山本工友会長、母校より青山教頭・佐藤事務局長のご来賓を迎え支部会員十三名が出席いたしました。総会ではご来賓の皆様から工友会の活動や、母校の近況と連絡等のお話をうかがい心強く感じると共に広島支部としてもさらに発展しなければと思いました。



議事に入り黒崎議長（十七年卒）のもと、平成十六年度事業報告・会計監査報告と平成十七年度事業及び予算計画案が審議・承認されました。総会を閉会いたしました。引き続き懇親会に移り、最年長の河原顧問（十三年卒）のご発声による乾杯に始まり余興やスピーチを交えて楽しい一時を過ごし、再開を約し

て解散いたしました。支部行事として新年会を二月、暑気払いを八月、秋季旅行を十一月に実施いたしました。毎月第三木曜日に実施していますゴルフ「岡広会」の

取り切り戦は十月、岸本氏（十三十七年卒）が初優勝されました。最後に、工友会員の皆様と母校のご繁栄をお祈り申し上げます。

広島支部秋季親睦会

「吉備路と母校と蒜山巡り」

三近 秀樹

(昭和二十九年工業化学科卒)

朝夕がめつきり肌寒く感じられる毎年の秋、広島支部では十一月五〜六日に七名参加して一泊二日のバス旅行を実施いたしました。

朝夕がめつきり肌寒く感じるのはやはり年老いたせいであろうか。昼食は地元で有名なほっこり蕎麦を食しけっこうな美味でした。次に吉備津神社を参詣しました。国宝の社殿は工事中でありましたが拝殿から南隋神門に延びた回廊に往時の歴史を偲びつつ近くの吉備津彦神社にも参詣しました。

初日は炭酸飲料のようなスカットとした秋晴れの朝に広島を出発いたしました。始めに、吉備国と呼ばれ古代政権の中心として栄え日本有数の規模を誇る古墳群や桃太郎の原型とされる吉備津彦命の温羅退治の舞台となった吉備の入り口、備中国分寺に到着しました。シンボルの五重塔は荘厳な姿で奈良時代の風と薫りを感じ得ずにはいられません。このゆつたりとした田園風景

その後、母校岡山工業高等学校の門をおよそ四十年ぶりにくぐり希望に満ち勉学に励んだ頃の事が懐かしく甦りました。休日にもかかわらず生方の案内で立派になった工友会館と学校内を見学しまし

た。機械・土木・化学・建築科の実習室を廻りましたが文化祭の準備で忙しそつでした。生徒は大変礼儀正しく大きな声で挨拶をし、茶髪もピアスも見かけず、さすがに我が母校の生徒の自立心と品位は素晴らしいものと参加者一同安心しました。

その夜は、湯郷温泉に宿泊して温泉に入り体を癒し、宴会では秋の味覚である松茸づくし(外国産)の料理に舌鼓を打ちお酒の量も増え昔話を肴に楽しい一時となりました。

翌日は雨の中、津山鶴山公園から蒜山高原へとバスを走らせ中国道・米子道の沿線では、もみじ・かえで・漆他の紅葉が真つ盛りで眼に焼き付く程に美しい景色でした。昼食は、蒜山高原センターでラムの焼き肉をたらふく食べ、夕刻一八時に無事帰広いたしました。

“五体がでえじようぶなら来年は何処に?”

【女性支部】 (あじさい会)

支部長
鳥越 隼
(昭和33年工業化学科卒)

工友会会員の皆様には、ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

女性支部(あじさい会)は第十七回総会を平成十七年六

月十二日に岡山駅みよしのに於て、工友会より武市顧問、高原副会長、母校より福嶋先生のご臨席を賜わり、大阪・神戸よりの四名を含む会員十四名の出席を得て開催いたしました。

総会に先立ち、昭和六十三年の女性支部発足以来、事務局を担当して下さっていた杉本章代(旧姓土師)様のご急逝を悼み、十七年間のご尽力とご苦勞に心から感謝し、ご冥福をお祈りいたしました。



総会ではご来賓の皆様から有意義なご祝辞を賜わり、続いて

の議事では平成十六年度事業報告および会計報告、役員改選および事務局変更に伴う支部規約の一部改正等が審議されました。役員全員は再任、事務局は支部長宅に置くなど、総ての案件が全会一致で承認されました。福嶋先生よ

り出席者全員が頂いた岡工校誌東天第三号は、母校をより一層身近に感ずることができると嬉しい贈物でした。今回は初めてご出席の方が三名、十年振りの方もいらして、懇親会では全員の自己紹介と近況報告を和やかに興味深く聞き入りました。また、岡工の枝に連なる者同士忌憚なく賑やかなおしゃべりも楽しみました。

七月十日開会の工友会総会には当支部より九名が出席させて頂き、懇親会終了後は場所を移して歓談いたしました。岡工へ通学した時期も校舎も

違うのに会えば話に花が咲く、この交わりを大切に、その輪をもっと広げるために努力していきたいものです。十一月十二日の岡工祭では、女性支部会員および工友会員のさまざまな作品を展示、学生・ご来校の皆様にご覧頂くと共に、私たちもウン十年若返つて楽しませて頂きました。

なかなか大きくなれない女性支部ですが、変わらぬご指導とお力添えをお願い申し上げます。

誉 瑞宝双光章
祝 中瀬 節夫

(昭和三十三年)元香川医科大学医学部附属
工業化学科卒)病院診療放射線技師長

「災」転じて



藤田 茂信
（昭和41年建築科卒）

工友会の皆様方にはご健勝で各界にわたってのご活躍心からお慶び申し上げます。

平成十六年の京都清水寺管長の文字は「災」でした。この文字が言い表すように地球上における数々の災害の報道には心を痛める日々が続いています。

「地震・台風・津波・etc」まさしく人間世界への警告と云うか、神々が作り上げたこの地球上で自然破壊の限りを尽くしている我々に「おまえたち人間も自然の一つである」という事を改めて思い知らされていくような気がします。「死は生まれたときから宣告されている」と同じように避けられないのが「災」ではないでしょうか。

「スクラップアンドビルド」といわれる建築に携わる者としてこれらの「災」は真摯に受け止めなければなりません。

我々人間も自然の一員であることは紛れもない事実であり四十億年以上の歴史を持つ地球では地震・台風・津波等の災害は起きてきたことがありまえと云うか、地球が生きている証拠としての営みである「鼓動」を昔の人々は地震・台風・津波等々と名づけて恐れおののいてきました。この地球の歴史の中ではごくごく新参者の人間が、自然に逆らって地震を止めたり台風の進路とかエネルギーを変えたりは、到底今の科学ではできないはずなどありませんし、地球上に生きる人間、特に地震国での建築の仕事に携わる我々は「地震は起こるもの、台風は毎年くるもの、津波もおきるもの」として考える様に教えられてきました。

建築家としていつも言い続けている言葉があります。建築は『もしかして（IF）雨

が降ったら、風が吹いたら、敵に襲われたら：自然災害・

人的災いあらゆる状況の想定と経験に基づき考え対応して生まれてきたものです。災害に強い建築とは過去の歴史・データ・予測、占い師ではありませんが何をすればよいのか、また如何に考え作り上げるべきか、防災力学等科学的に理論上は判っている筈ですがまだまだ自然の力に太刀打ちが充分ではありません。しかし我々はこの力に対抗し続けなければなりません。昨今新聞等マスコミを賑わせている耐震偽装（構造計算の改ざん）など建築家としてより人間としての資格を問われることであり自然を侮り恐れを知らぬ最たることではないでしょうか。

「災」は「死」と同じように突然です。何時おきてもそれなりの対応をしなければならぬのが地球新参者の我々人間です。人生も然りです。突然病に見舞われることもありまます。事故・事件に巻き込まれることもあるでしょう。大きな災害が起きないことを祈りながら何時でもどのような事態にも対応できる知恵と勇氣

と力をつけようではありませんか。

日本国内を始め世界中において活躍の岡工各料卒業生の中にはこの災害の復旧・建設・救済・防止等なんらかの形で関係するお仕事に携わつ

ておられる方もたくさんいらっしゃると思います。悲惨な情報に心を痛めながら災害に立ち向かっている工友会会員に心から敬意を表し岡工の名のもと更なるご活躍をお祈りいたします。

藤田 茂信

（株）藤田建築設計事務所 代表取締役社長
建築家

一九六六年（昭和四十一年）

岡山県立岡山工業高等学校建築科卒業
一九七四年（昭和四十九年）

（株）藤田建築設計事務所創立

大阪・東京・福岡・沖縄に事務所を置き海外（台湾）を含め全国の子供の施設・福祉施設・スポーツ施設等の作品を数多く設計

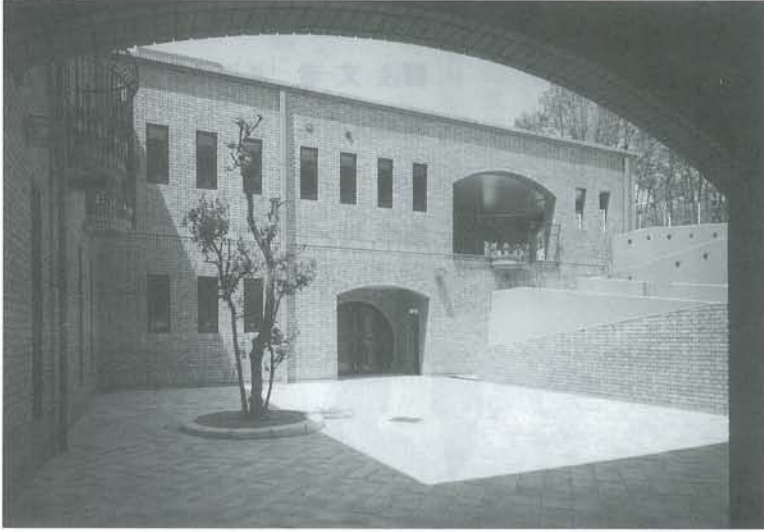
本社 〒532-10002

大阪市淀川区東三国一丁目27-1

TEL (代) 06-6391-0155



小鳩幼稚園



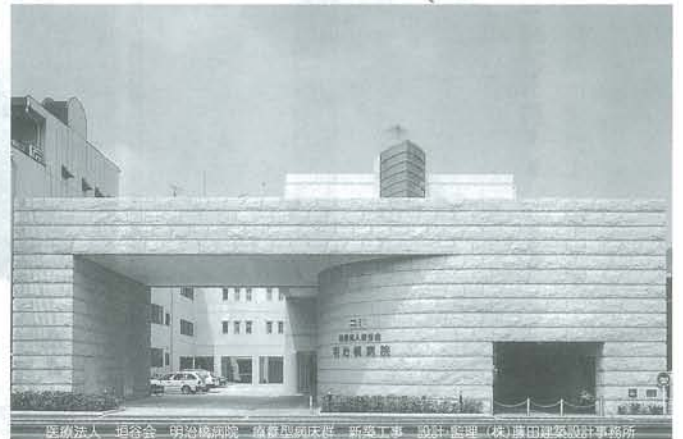
のびてゆく幼稚園



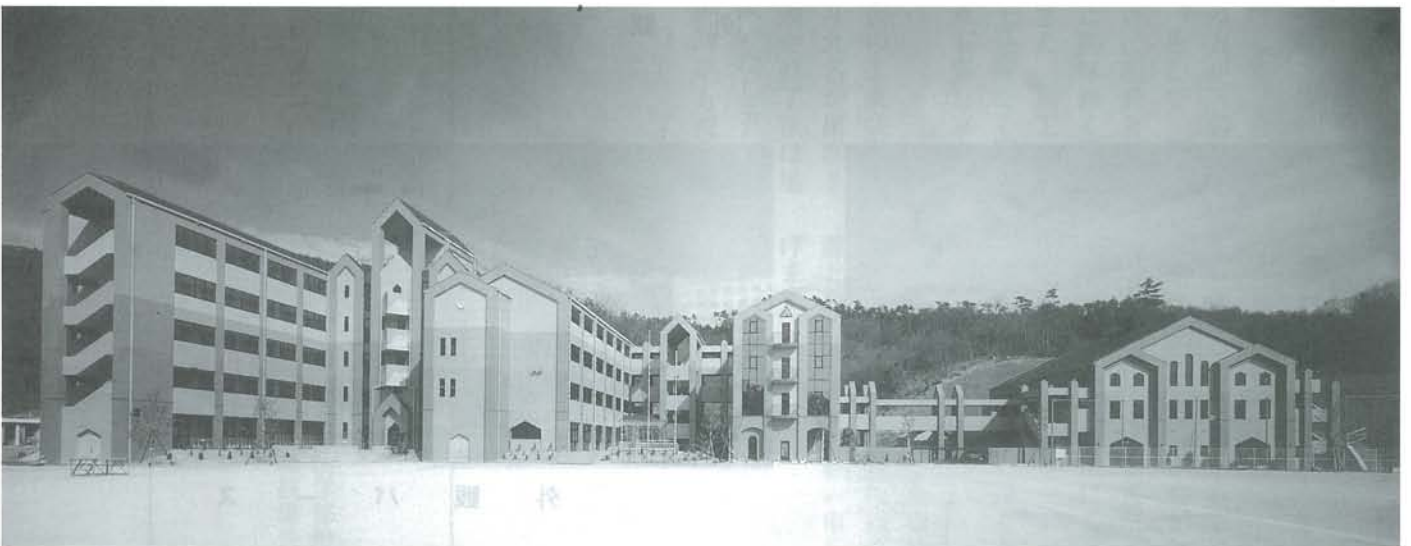
藤田建設事務所



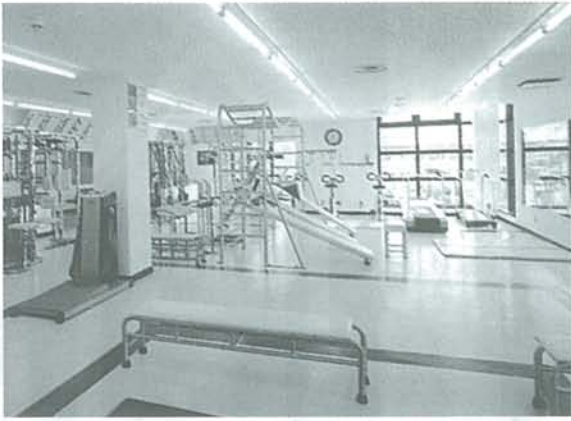
八里愛心教養院



明治橋病院



朝日塾小学校



トレーニングルーム

岡山スポーツ会館新築工事

- 設計年次 1985
- 注文者 (株)岡山スポーツ会館
- 都道府県 岡山県
- 構造 S
- 面積 m² 4,008.67



外 観



外 観



外 観 パ ー ス

キッコーマンスポーツクラブ新築工事

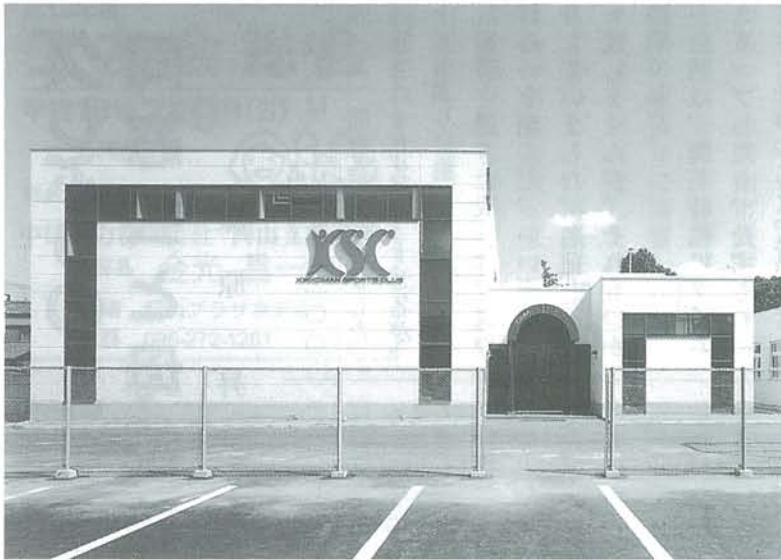
■設計年次 1986

■注文者 キッコーマン(株)

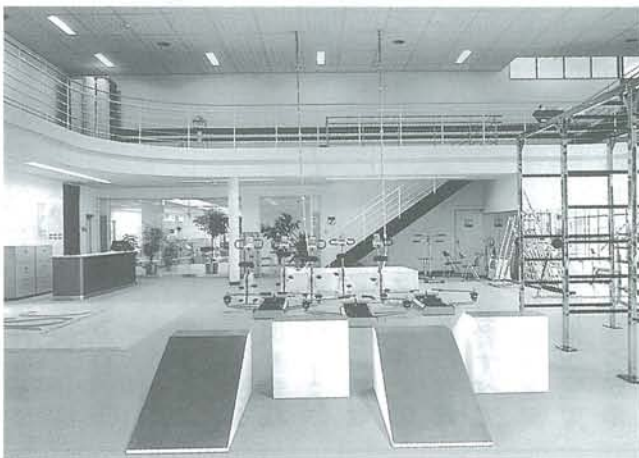
■都道府県 千葉県

■構造 S

■面積 m² 1,930.47



外 観



トレーニングルーム



ロビー



プール



トレーニングルーム

久しぶりの 同窓会と母校訪問

藤原 昇（昭和三十六年工業化学科卒）

我らは、一昨年（二〇〇四・八）同窓会を開きました。同窓生六十九名中二十五名が、十五年ぶりに集いました。

還暦を過ぎた我らは、歳の移ろいを刻んだ、いい顔に変身していました。名前と顔が一致しませんが、それもつかの間でした。

会話は、岡工時代にタイムスリップしたり、たずさわってきた仕事のことや近況にと、四十有余年の間を行ったり来たり、とどまることがありませんでした。あつと云う間の「カラオケ」へ。ここでは、友の放歌高吟に我慢！我慢！の連続。やっと、次回の再会を約してお開き。還暦を過ぎたゆえか、感慨ひとしおの、いい同窓会でした。

しかし、日がたつにつれ、参加者だけにこの「感動」をどどめおくのは惜しいと、思うようになりました。そこで、

欠席した友に、同窓会会場の写真と会話、それに母校の近況も知らせてやろうと思いたちました。

昨年（二〇〇五・六）同窓の友とふたりで母校を訪問しました。実に四十四年ぶり……。入学が、一九五八年（昭和三三年）。南方校舎から現在地に移転したのは一年生の

とき。机を持って、休み休み、歩いて運んだのを思い出します。

：岡工時代をうかがわせるのは、普通教室一号二号館と実習室の一部くらい。母校の変貌に、ただただ驚嘆するばかり。夢中で写真のシャッターを押ししました。

校内で出会った後輩たちは、大きな声で挨拶をしてくれました。年は流れても、昔と変わらない、よき伝統にふれることができました。



母校の近況には、夢中で撮った写真のほかに

- 一、「工の伝統」創立百周年記念誌
- 二、校誌「東天」第3号
- 三、岡工パンフレット

から、学校施設配置図や全校写真などを加えました。また、岡工ホームページからの校歌も収めました。これらを「〇四年同窓会の記録CD」に編集して、同窓の希望者すべてに送りました。

今年、同窓会開催予定です。その時まで、我がが歩んだ年代を音声で辿れるように送りました。

にと、思っています。

内容は、生を受けた太平洋戦争さなかを「トラ・トラ・トラから玉音放送まで」のラジオニュースで、そして物心ついた昭和二十年代と岡工時

岡山国体に出場して

依田 聡子（旧姓 延江）（平成十年デザイン科卒）

この度「晴れの国おかやま国体」夏季大会においてカヌー競技ワイルドウォーターレーシング種目で選手として出



場し、念願であった「優勝」を勝ち取ることが出来ました。優勝することは自分自身の中で頂点として掲げており、国

体までに様々な大会に出場してきましたが、一度も勝ち取ることの出来なかった順位でした。

ワイルドウォーターレーシングとは、流れのある川で石等を避けながら一気に漕ぎ下る競技です。国体では一五〇〇mもの距離を約5〜6分間漕ぎ続けます。岡山国体のコースは、ほとんど流れのない静水を約一二〇

代の昭和三十三年から三十六年は流行歌によって、編成するつもりです。出来上がれば、「〇六年同窓会の記録」の付録にしようと思っています。



0 m漕ぎ、最後に流れの中を漕ぐといった約6、7分間のコースでした。石や波を避ける技術、持久力などの体力はもちろんのことながら、特に長い距離をひたすら漕ぎ続けるにはかなりの精神力が必要でした。

競技カヌーを始めてから、辛く厳しい練習を重ねても結果が残らない、という時期が何年もありました。しかし、高校時代に吹奏楽部に所属し目標達成のためにあきらめず何度でも繰り返して練習を

行った経験が、日々の練習やレースでの粘りに生かされたのだと思います。

国体までの間には高校時代にお世話になった先生や、部活を一緒に頑張った友人からの激励もあり、今まで以上に周囲の方々に支えられていると実感しました。これも地元国体に選手として出場することが出来たからこそ味わえた経験であったと強く感じています。

これからも選手として高い目標を掲げあらゆるレースに挑戦していくと共に「カヌー」というスポーツを通じて、岡山国体までに私が学んできた多くの楽しさや感動を、沢山の方々に伝えていきたいと思っています。

晴れの国おがやま国体

夏季大会カヌー競技

地頭代紘史(昭和三十七年電子科卒)

昨年の岡山国体では選手・役員・ボランティアなどに多くの工友会会員の皆様に参加されたことと思います。私も夏季大会カヌー競技の審判員として参加しました。その会場での会員のすばらしい活躍を紹介します。

競技初日の九月十日建部町旭川特設カヌー会場では、週初めの台風の影響で濁りがとれない中、女子ワイルドウォーター一五〇mレーシング

が開始されました。全国から予選を勝ち抜いてきた二十四名によって競われ、二十二番目に発挺した地元建部町の依田聡子(平十デ卒)選手が見事優勝、国体四連覇中の二位の選手に六秒近くの差を付けての快勝でした。続いて行われた男子同種目で夫君の依田伸一朗選手も優勝し、国体史上初の夫婦優勝を飾った。彼女は四日目のスプリント競技でも一位に〇秒一六の僅差で堂々の二位でした。

私は漕行時間計測を担当しました。電子計時システムなのでスリットカメラのシャッターを開けるだけ。もちろん遅すぎるとは計測できませんが早く押してもゴール手前の画像が多くなるだけで計測時間には全く関係ありません。それでもシャッターボタンを持つ手には力が入っていたようでした。

一ヶ月後の十月十一日兵庫県宍粟市で兵庫国体のリハールを兼ねた二〇〇五カヌーワイルドウォータージャパンカップ第五戦が開催されました。女子ワイルドウォーター一五〇mレーシングに出場した彼女は二位に約七秒の差を付けて優勝。一昨年の埼玉国体では三位。昨年は優勝と確かな実力が付いて来ています。今年も兵庫のじぎく国体をはじめ各大会での活躍が期待されます。

私が岡工に入学したのは昭和二十一年の春のことでした。市の中心部はほとんどが焼失、校舎も例外ではありませんでした。機械科実習室の跡には赤錆びた数台の旋盤が雨曝しになっていました。教室不足のため午前組・午後組に分かれての二部授業、その教室もトタン屋根と柱だけのもので風の通りは抜群、でも雨が降ると雨音と雨漏りで授業もたびたび中断されました。教科書は数十頁分を新聞用紙に刷ったものが配布され、それを各自で切り離し、綴じ直して使っていました。体育の時間の多くは校内の整備作業に当てられました。全員で花壇作り用の小石を拾いに旭川へ出かけたのもこの頃のことでした。校外学習の映画鑑賞や工場見学は楽しみの一つでした。十一月下旬には教室も増え、

六十年前の在籍の

思い出

中司 恒夫

(昭和二十六年工業化学科卒)

私が岡工に入学したのは昭和二十一年の春のことでした。市の中心部はほとんどが焼失、校舎も例外ではありませんでした。機械科実習室の跡には赤錆びた数台の旋盤が雨曝しになっていました。教室不足のため午前組・午後組に分かれての二部授業、その教室もトタン屋根と柱だけのもので風の通りは抜群、でも雨が降ると雨音と雨漏りで授業もたびたび中断されました。教科書は数十頁分を新聞用紙に刷ったものが配布され、それを各自で切り離し、綴じ直して使っていました。体育の時間の多くは校内の整備作業に当てられました。全員で花壇作り用の小石を拾いに旭川へ出かけたのもこの頃のことでした。校外学習の映画鑑賞や工場見学は楽しみの一つでした。十一月下旬には教室も増え、

数人で共用の長机・長いすは個人用のものへ、また、二部授業は一部授業へとようやく落ち着いて授業が受けられるようになりました。

昭和二十二年五月には新憲法を記念して校内弁論大会やマラソン大会が行われました。六月の田植え時期と十一月の稲刈り時期には数日間の農繁休暇が設けられていました。十二月十日には天皇陛下が岡山へおいでになり、全員で道路に並んでお迎えしました。

この頃、街ではガラス泥棒が横行、学校の窓ガラスも被害にあい、その対策として数名ずつで泊りがけでの校内巡視に当たりました。寒い時でしたが、みんなで楽しくやっています。その後、①と磨りこんだ窓ガラスを使うようになりしました。

昭和二十三年四月、校名が岡山県立西高等学校となり新制高校として再スタート。翌年の四月には教室や実習室などが整備され、七月には「市工との合併の進めかた」をテーマに生徒を交えて話し合いがもたれました。

昭和二十五年三月西高第一期生の卒業式が東古松校舎で

挙行され私たちも出席しました。新学期から各科の住み分け・統合がなされ、化学科は南方校舎にまとめられました。

九月になって修学旅行を計画、行き先は東京、九州方面が多数を占めました。県の指針（二泊三日、千円以内）に沿って化学科は京阪神方面（費用八百六十円）と決定しました。九月三十日夜、宇野駅に集合、夜行列車で京都へ、工場見学と観光をして京都泊、翌日は奈良へ、そして、次の日に大阪へというコースでした。また、高校最後の運動会の仮装行列で「花咲爺」を演じたのが思い出されます。今から思うと不便で不自由な苦勞の多い時代でしたが、それを辛くとは思わず楽しんでいた時代でもありました。



人生の岐路だった？岡工入学

安原 信之（昭和六十年電子科卒）

東北に新幹線が通り、今は死語になりつつあるテレフォニックカードが出来た昭和五十七年に、私は岡工電子科に入学した。

他の生徒たちが専門知識を習得しようと胸を躍らせていたのに対し、私は何の志もない新入生だった。

自分で言うのも何だが、中学時代の私は要領が良くテストの点だけは悪くなかった。で、普通科の高校からその後大学に行くだろうと漠然と思っていた。しかし一向に受験勉強をしない私に対し、ある時母親が「そんなに勉強が嫌なら工業高校へ行って早く就職したら？」と言った。中学3年の秋だったと思う。私はラッキーとばかりに将来の大学受験という道から逃げ、そして岡工電子科を受験した。

そんな動機だったので、何か嫌な事がある度に“やはり普通科に行っていれば”と思

った。

入学してすぐの事だった。実習で使う工具セットを家に持ち帰るのが嫌で、仲間



と教室のロッカーの床下に隠していた。それが副担任の先生にばれ

て工具セットを没収されてしまった。嫌いだった実習の授業が益々嫌いになり、“ああ、普通科に行っていれば”と思

った。高校3年間は勉強よりもサッカーに熱中した。だが担任の先生が非常に熱心な方で、夏休みも電子科だけクラス全員での補習授業があった。このため部活には遅刻ばかり。誰かが冗談で「電子科は岡工

の普通科だ」と呼んだ。勉強から逃げるために岡工に入ったのに。この時も“これなら普通科に行っていれば”と思

った。3年になると就職活動が始まる。当時は不景気で就職難だった。私は電機メーカーに無事就職できたが、その4年後にバブルがやってきて就職先は選り放題の時代となった。やはり“あの時に普通科から大学に行っていれば”と思

った。だが本当に普通科の高校に行っていたほうが良かったのか？

今こそ大阪に勤めているので高校当時の仲間にあうことは殆どないが、あの頃馬鹿なことばかりをしたのは今でも大切な思い出である。

普通科に行っていたら、あんな仲間が出来ただろうか。普通科に行っていたら、今の会社に入社出来ただろうか。普通科に行っていたら、今の嫁さんに出会えていたのだろうか。今の二人の娘を授かることが出来ただろうか。

今私は、あの時岡工を選んだ良かったと心から思っている。

生徒会長としての九ヶ月間

生徒会長 篠原 英治



とても疲れました。

でも、その体育祭の準備のしんどさを上回る行事があります。それが岡工祭です。とにかく本当に疲れました。岡工祭の準備をしていて、気付

いたら日付が変わっていたことがありました。この時ばかりは生徒会長になったことを本気で後悔しました。

しかし、どの行事も終わってみればやって良かったと思えました。なぜだか分かりませんが、不思議な達成感がありました。

達成感といえば、十二月に私はもつとすごい達成感を得

ることができました。それは昨年の先輩が取組んでいた「携帯電話の学校への持ち込み許可」を先生方からいただいたからです。

これは私の公約でも言っていたことなのですが、正直最初はゴールの見えない闘いでした。様々な活動をしてきましたが、なかなか進展せず、本当に困っていました。でも

そんな時は、いつも先生方や執行部の人たちに助けられました。私は本当に幸せ者だと思います。私を助けてくれた人たちがいなければ、実現できませんでした。本当に感謝しています。

今となっては生徒会長になつて良かったと思っています。ただただ感謝の一言です。ありがとうございました。

私の生徒会長としての初仕事は、私が二年生の時に卒業する先輩方に対して送辞を読んだことです。私はラグビー部に所属しており、先輩方には本当に様々な面でお世話になつていたので、その感謝の気持ちを込めて、送辞を読み上げました。当時はまだ人前に立つことに慣れてなかったのでもとても緊張したのを覚えて

います。

その他にも様々な仕事がありました。特に苦勞したのは体育祭と岡工祭の準備でした。体育祭の準備では企画を練つたり各種委員会の人たちと打合せをしたり、肉体労働もしました。家に帰る時間はいつも九時過ぎで、十時になることもしばしばありました。

一回戦を突破！——全国大会——

——ご声援ありがとうございました——

顧問 岡田 宜之

昨年末に近鉄花園ラグビー場で行われた第八十五回全国高校ラグビーフットボール大会出場に際しましては、工友会各支部及び会員の皆様方から過分のご支援を賜り、誠にありがとうございました。おかげをもちまして選手たちは練習の成果を思う存分に発揮し、悔いのないプレーをしてくれたと思っております。心より御礼申し上げます。さて、試合結果であります

が、一回戦では三十四回の出場を誇る北北海道代表の古豪・北見北斗高校と対戦いたしました。岡工は自信のFWで終始押し気味にゲームを展開していましたが、後半に同点に追いつかれ苦しい状況に追い込まれました。しかしながら、試合終了間際に底力を発揮し、土壇場で粘る相手を突き放し二十四対十七で何とか勝利を収めることができました。

二回戦ではシード校で今大会優勝を飾った伏見工業高校と対戦しました。岡工も今年度は中国地区では負け知らずのチームでしたが、力の差は如何ともし難いものがあり、五対七十二で完敗を喫しました。それでも全国大会で一勝を挙げることができたこと、そして日本一のチームに対して、自分たちの力を全て出し切りトライでも返すことができたことは、選手たちにとって大きな自信につながったと思っております。また、試合会場にたくさんの方が応援に駆けつけてくださったことも、大きな励みになりました。本当にありがとうございました。

現在では三年生が引退をして新チームとなり、新人戦を戦っているところであります。部員数も少なくなり、今までのような戦績を残せるかどうか不安もありますが、先輩たちが残してくれた全国レベルの技術という財産と「誠実勤勉」の校訓を胸に精進を重ねていく所存でありますので、今後ともご声援のほどよろしくお願い申し上げます。



最高に輝いた 自転車競技部 岡山国体第3位!



■第60回国民体育大会出場者

カヌー	新保 貴大(機3A)
ボクシング少年	海崎 義明(土2)
自転車競技	川本 琢也(機3B) 佐藤 辰徳(機3B)
	西村 晴基(機3B) 松木 渉(電3)
	片山 達夫(土2)
弓道競技少年	岸田 正輝(化2)
ラグビー少年	前原 剛史(機3B) 斉木 啓人(機3B)
	玉田 純規(土3) 福田 裕一(土3)
	岩木 雅弘(建3) 藤原 拓洋(建3)
	野上 貴登(電3) 坪井 秀龍(化2)
ハンドボール成年	安井 誠 (職員)
弓道競技成年	間生 博子(職員)
監督・コーチ	陸上競技: 中村忠彦
	自転車競技: 川口敬二
	バレーボール: 三尾健一

■第60回国民体育大会記録

カヌー競技	カヤックシングル200m	第3位	新保 貴大(機3A)
			川本 琢也(機3B)
			佐藤 辰徳(機3B)
自転車競技	4kmチームパーシュート	第3位	西村 晴基(機3B)
			松木 渉(電3)
			片山 達夫(土2)
弓道競技	4km速度競走	第3位	川本 琢也(機3B)
	少年男子近的	第5位	岸田 正輝(化2)
	少年男子遠的	第6位	岸田 正輝(化2)

- 学習の記録
- ・技能検定機械加工普通旋盤3級 金賞(機械科)
- ・全国製図コンクール 最優秀特別賞(機械科)
- ・県測量競技大会
- ・水準測量の部 第1位(土木科)
- ・トランシット測量の部 第1位(土木科)
- ・県高校工業教育協会建築系部会

後輩の活躍

- 設計製図競技会 佳作(建築科)
- ・仁科ロボコン 優勝(電気科)
- ・剣道ロボコン 優勝(電気科)
- ・ジャパンマイコンカーラリー 準優勝(電気科)
- ・高校生ものづくりコンテスト 県大会
- 化学分析部門
- 優勝(化学工学科)
- 電気工事部門
- 優勝(情報技術科)
- 第2位(電気科)
- 電子回路部門
- 第2位(電気科)
- ・IT人材育成プロジェクト
- 文部科学省研究指定校に選ばれる

岡山国体 第3位
(史上初の大会6連覇)

- 部活動の記録
- 岡山県高体連はインターハイ、おかやま国体など昨年の全国大会で優秀な成績を納めたチーム、選手を表彰しました。本校からは4名が選ばれました。
- 山本 昂(建3) ラグビー部
- 三村紘子(情技3) 弓道部
- 川本琢也(機3B) 自転車競技部
- 新保貴大(機3A) カヌー同好会
- 岩本昌明(化3) バスケットボール部
- ・カヌー同好会 新保貴大
- 岡山国体 第3位
- ・弓道部 岸田正輝
- 岡山国体 近的5位 遠的6位
- ・自転車競技部
- 中国大会 優勝



・ラグビー部
中国大会 優勝
全国大会出場

ご意見・情報
お問い合わせは...

〒700-0013
岡山市伊福町4-3-92
岡山県立岡山工業高等学校

工友会事務局

tel:086-252-5231
fax:086-252-7130
http://www.okako.com/

同窓会や旅行などで、お近くにお越しの際はぜひ母校へお立ち寄りいただき、後輩たちの様子を見てやってください。

工友会会員みなさまの動静、話題、同窓会報告などがありましたらお知らせ下さい。今後とも誌面充実のためご協力いただきますようお願いいたします。

関係者多数のご協力をいただき、無事第四十七号の会報を発刊することができました。寄稿いただきましたみなさま方に厚くお礼申し上げます。

本年度は岡山国体に沸いた年でした。前回昭和三十七年の岡山国体を調べてみました。岡工から五種目に九名の方が出場されていたようです。漕艇競技になんと女子チームが出場していたことを知り、岡工のチャレンジ精神を物語る先輩方の一つのエピソードとして後輩たちに紹介しておきました。

編集後記